



6日(水)の日程が終了

「国民日報」

2013.11.06 21:36

<http://p.tl/IBk9>

世界教会協議会(WCC)は11月6日(水)の日程を終えた。ベヒョンジュ釜山ジャンシン大学教授(52)が、世界教会協議会(WCC)中央委員に選出された。前日保留された「教会の一致」声明も採択された。

WCC 総会代議員は釜山 BEXCO 会場で特別会合を開き、韓国の教会が推薦した候補者2人のうちベ教授を中央委員に選出した。150人の中央委員の推薦にあたる業務を担当した人選委員会は、当初、韓国の要求どおりベ教授ともう一人の韓国人牧師を候補とする修正案を上程した。しかし西欧圏の代議員が「青年の割合を高め、女性・青年の割合を均衡させること」を要求し、議論を経て、最終的に投票を行った結果、ベ教授だけが中央委員に選出され、もう一人の韓国人牧師は過半数の票を得られなかった。結果、韓国人の中央委員は1人に減った。中央委員に選出されたベ教授は「世界の教会が韓国教会にかける期待が上昇するこの時点で中央委員を務めることになり、聖なる負担と責任感を感じる」とし「韓国教会の偉大な伝統を携え、世界の教会がイエスの弟子としての教会としてのパートナーシップを回復するために、微力ながら働きたい」との所感を明らかにした。

中央委員会は、次期総会までに「声明の採択」「財政の運営」「総幹事の選出」「プログラ

ム進行状況の確認」などの業務を担う。続いて代議員会は「朝鮮半島の平和と統一に関する声明」など3つの声明を議論した。前日に継続審議となった「教会の一致」声明と共に、三つの声明は採択された。

この日の夜の祈祷会は、「韓国教会と共に行う水曜礼拝」として公開された。今年103歳となる韓国人老牧師などがメッセージを伝えた。参加者は賛美を続け、大陸毎の祈りを朗読し、貧困や病気、戦争と暴力に苦しむ人々のために祈った。特に、韓国教会の祈祷方式での祈りによって大きな声で正義と平和を求めた。

この日の午前には、「正義」をテーマとした全体会議が開かれ、潘基文国連事務総長からの書面による祝辞が紹介された。潘事務総長は「宗教指導者たちは、多くの人々に大きな影響を与えることができ、自分の考えを変え、社会を変化させることができる」とし、「WCCのメンバーは、偏見と憎悪と戦うことができ、寛大さと信頼を作っていくことができる」と強調した。

釜山=シンサンモクベクサンヒョン記者 smshin@kmib.co.kr